

咽頭結膜熱警報の発令について

令和6年2月15日（木）15時00分

北海道苫小牧保健所
電話：0144-77-9941

北海道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、令和6年第6週（令和6年2月5日～令和6年2月11日）において、管内の定点医療機関あたりの患者報告数が、警報基準以上となりましたので、咽頭結膜熱警報を発令します。

記

1 定点医療機関あたりの患者報告数（第6週速報値）

区分	苫小牧保健所	全道	全国
1 定点医療機関あたりの患者数	3.40人	-人	-人
定点医療機関の受診患者総数	17人	-人	-人

2 「咽頭結膜熱」とは

アデノウイルスの感染により、発熱（38～39度）、のどの痛み、結膜炎といった症状を来す、小児に多い病気です。

プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので、「プール熱」とも呼ばれることもあります。

季節によらず年間を通じて発生しますが、6月頃から徐々に増え始め、7～8月にピークになります。

3 「咽頭結膜熱」の感染予防

流行時には、流水と石けんによる手洗い、うがいをしましょう。

感染者との密接な接触は避けましょう。

衛生を保つため、プールからあがった時は、シャワーを浴び、うがいをしましょう。

4 参考

(1) 最近5週間における定点医療機関あたりの患者報告数 ※（ ）内の表示は、「患者/定点」単位：人

	第2週 (1/8～1/14)	第3週 (1/15～1/21)	第4週 (1/22～1/28)	第5週 (1/29～2/4)	第6週 (2/5～2/11)
苫小牧保健所	8 (1.60)	3 (0.60)	9 (1.80)	7 (1.40)	17 (3.40)※
全道	469 (3.37)	464 (3.34)	413 (2.97)	394 (2.83)	- (-)
全国	4,526 (1.44)	4,001 (1.28)	3,881 (1.24)	3,600 (1.15)	- (-)

※第6週の患者報告数は速報値。

※全道の咽頭結膜熱流行情報は、北海道感染症情報センターのホームページで御覧になれます。

(URL: <https://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/601/data.html>)

(2) 咽頭結膜熱の警報とは

【発令基準】 警報：1 定点医療機関あたりの受診患者数が一週間で3人以上となった場合

※ 警報発令後は1 定点医療機関あたりの受診患者数が1人以上であれば警報を継続

厚生労働省の感染症発生動向調査により、管内の定点医療機関を受診した咽頭結膜熱患者数が、警報の発令基準値に達した場合に発令します。

警報は、大きな流行の発生や継続が疑われることを示しています。